

# 未来の扉を開け。

**学校見学会** 対象：中学生・中学校教諭・保護者・塾関係者・高校生

本校にて、各学科の研究・実験等の内容を在学生と交流しながら見学・体験できます。

実施日：第1回 令和5年 8月 5日(土)

第2回 令和5年11月11日(土) [入試説明会同日開催]

**体験授業** 対象：中学生

本校にて行われている、各学科・教科の講義や実験・実習の模擬体験ができます。

実施日：令和5年8月9日(水)・10日(木)

| 令和6年度入学者募集                         |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 推薦入学者選抜                            |                     |
| 出願方法                               | Web出願               |
| 試験日                                | 令和6年1月18日(木)、19日(金) |
| 試験内容                               | 面接                  |
| 募集人員                               | 各学科定員40名の50%程度      |
| 一般入学者選抜                            |                     |
| 出願方法                               | Web出願               |
| 試験日                                | 令和6年2月11日(日)        |
| 試験科目                               | 国語・社会・数学・理科・英語      |
| 募集人員                               | 各学科定員40名の50%程度      |
| ※ 帰国子女特別選抜も実施します。                  |                     |
| ※ 必要に応じて、追試も実施します。                 |                     |
| ※ 詳細については、必ず令和6年度入学者募集要項で確認してください。 |                     |

## 入試説明会

令和6年度入学者募集要項等により、入試に関する説明を各地で行います。

対象：中学生・中学校教諭・保護者・塾関係者

### 本校 群馬工業高等専門学校 大講義室

群馬県前橋市鳥羽町580番地 TEL: 027-254-9060

8月22日(火) 14:00~16:00 ※オンライン開催を併設

9月10日(日) 14:00~16:00 ※オンライン開催を併設

9月21日(木) 14:00~16:00 ※教員・塾講師のみ

10月 7日(土) 14:00~16:00 ※オンライン開催を併設

11月11日(土) 9:00~10:00 ※第2回学校見学会と同日  
※オンライン開催を併設

11月22日(水) 14:00~16:00 ※教員・塾講師のみ



### 大宮 8月26日(土)14:00~16:00



埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
TEL 048-647-4111

### 太田 9月23日(土)14:00~16:00



群馬県太田市飯塚町1549-2  
TEL 0276-48-6280

### お問い合わせ

学生課教務係

TEL.027-254-9060

FAX.027-254-9080

MAIL. kyoumu@gunma-ct.ac.jp



National Institute of Technology(KOSEN), Gunma College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

**群馬工業高等専門学校**

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地

URL <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

群馬高専は、学生の夢の実現に向けて、学校あげて全力投球します。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

# 群馬工業高等専門学校

Mechanical Engineering

機械工学科



Electronic Media Technology

電子メディア工学科



Information and Computer Engineering

電子情報工学科



Chemistry and Materials Science

物質工学科



Civil Engineering

環境都市工学科



National Institute of Technology (KOSEN),  
Gunma College

2024  
学校案内



高い専門知識と技術を身につける群馬高専は、グローバルに活躍していくための社会性を磨くことにも力を入れています。群馬高専では、こんな人を求めています。科学技術者になりたい人、人の活動や地球環境を守りたい人、工業技術に興味がある人、国際的に活躍したい人、数学や理科が得意な人。

# 「好き」を極めに群馬高専へ

群馬高専は、国立高等専門学校の第1期校として昭和37年4月に開校した技術者の養成を目的とする高等教育機関です。

群馬高専本科（5年制）では、5年間の一貫教育の利点を活かした、効率的なカリキュラムを採用しています。高校相当の基礎教育段階（本科1～3年次）から、専門教育に必要な知識を習得するために一部大学レベルを先取りした教育を実施しています。そのため、高校から理工系の大学に進学するよりも、スムーズに専門的な知識や技能を身に付けることができます。また、本校では、学生の実践力と創造力を磨くため、最新の実験設備やパソコンを用いた実験・実習・情報処理教育を重視しています。さらに、本科4、5年次（大学1、2年相当）での選択科目や卒業研究等は少人数で実施されるため、学生一人ひとりに対するきめ細かい充実した指導がなされています。なお、本科卒業後は「準学士（工学）」と称することができます。

本科5年間を卒業後、更に勉学を進めたい学生のために、平成7年度から2年制の専攻科を設置しました。主に高専卒業生を対象とする専攻科では、今日の先端科学技術産業が必要とする人材の育成を目指しています。本校の専攻科は独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の特例適用を受けていますので、所定の要件を満たすことにより、4年制大学卒業者と同じ「学士（工学）」の学位を取得することができます。

本校の本科卒業生の進学率は64%、専攻科修了生の大学院進学率は63%です。本科卒業後、大学に編入学した学生の大学院進学を含めると、卒業生の半数が大学院に進学しています。大学編入学および大学院進学では、東大、京大、東工大、東北大といった難関大学・大学院への進学者も例年多数輩出しています。また、本科卒業生、専攻科修了生の就職希望者の就職率は、例年ほぼ100%であり、群馬県をはじめ全国の優良企業や官公庁等に就職しています。

アドミッションポリシー（準学士課程・全学科共通）

1. 求める学生像

本校では、本校の教育理念及び学習・教育目標、さらには、学科の教育目的を踏まえ、総合的な基礎学力を十分に有する、次のような人の入学を求めている。

(1) 科学技術者になりたいという志をもっている人

(2) 人類の繁栄と地球環境を守るための科学技術に関心のある人

(3) 国際的な場で活躍したいという希望をもっている人

(4) 工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人

(5) 数学や理科などの自然科学系科目が得意で興味のある人

2. 入学者選抜の基本方針

(1) 推薦入学者選抜

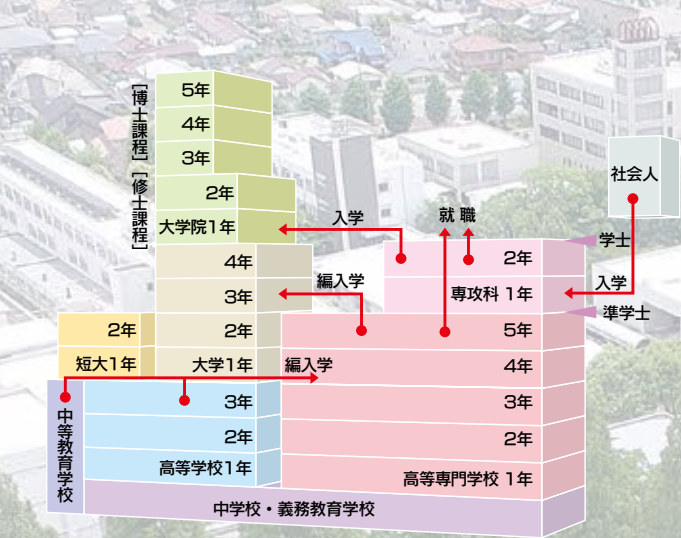
出身中学校等から推薦された志願者のうち、入学の意志が強く、学修に必要な基礎学力を有し、適性及び関心をもつ者を調査書及び面接により選抜する。

(2) 一般入学者選抜

入学を志望し、学修に必要な基礎学力を十分に有する者を調査書及び学力検査により選抜する。

(3) 編入学者選抜

入学を志望し、編入学後の学修に必要な基礎学力を有し、適性をもつ者を調査書、学力検査及び面接により選抜する。



## 入試情報 | 令和6年度募集人員及び過去の入学志願者・合格者

| 学科        | 区分 | 入学定員 | 推薦選抜        | 一般選抜        | 帰国子女特別選抜 | 令和4年度     |    |    | 令和5年度     |     |    |
|-----------|----|------|-------------|-------------|----------|-----------|----|----|-----------|-----|----|
|           |    |      |             |             |          | 入学志願者     |    |    | 合格者       |     |    |
|           |    |      |             |             |          | 一般(新規志願者) |    |    | 一般(新規志願者) |     |    |
|           |    |      |             |             |          | 推薦        | 単願 | 併願 | 推薦        | 単願  | 併願 |
| 機械工学科     |    | 40   | 各学科定員の50%程度 | 各学科定員の50%程度 | 若干名      | 33        | 31 | 0  | 20        | 22  | 0  |
| 電子メディア工学科 |    | 40   |             |             |          | 17        | 15 | 0  | 17        | 24  | 0  |
| 電子情報工学科   |    | 40   |             |             |          | 56        | 15 | 1  | 22        | 20  | 0  |
| 物質工学科     |    | 40   |             |             |          | 48        | 18 | 0  | 20        | 21  | 0  |
| 環境都市工学科   |    | 40   |             |             |          | 35        | 13 | 1  | 20        | 21  | 0  |
| 計         |    | 200  |             |             |          | 189       | 92 | 2  | 99        | 108 | 1  |

※志願者（一般）は推薦不合格者を含まない、第一志望の新規志願者。  
※合格者（一般）には推薦不合格者および第2・第3志望学科による合格者を含む。  
※帰国子女特別選抜（一般・単願）について令和4年度は物質工学科に志願者1名。令和5年度は電子メディア工学科に志願者1名。

### 入学者選抜

推薦入学者選抜、一般入学者選抜及び帰国子女特別選抜により行います。  
推薦入学者選抜は、学力検査を免除し、面接及び中学校等の校長からの推薦書と調査書に基づいて行います。  
一般入学者選抜は、学力検査(国語・社会・数学・理科・英語)及び中学校等の校長からの調査書に基づいて行います。  
帰国子女特別選抜は、学力検査(国語・数学・理科・英語)と面接、及び中学校等の校長からの調査書に基づいて行います。

## 進路状況 | 卒業生進学率 64%

|                  |       |       |       |
|------------------|-------|-------|-------|
| 大学・専攻科進学状況：本科卒業生 |       |       |       |
| 大学等名             | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 群馬高専専攻科          | 38    | 36    | 37    |
| 北見工業大学           | 1     | 1     |       |
| 室蘭工業大学           |       | 3     | 2     |
| 岩手大学             | 1     |       |       |
| 東北大学             | 4     | 2     | 2     |
| 秋田大学             |       | 1     |       |
| 福島大学             |       |       | 1     |
| 茨城大学             | 2     |       | 1     |
| 筑波大学             | 7     | 3     | 1     |
| 宇都宮大学            | 1     | 1     | 2     |
| 群馬大学             | 9     | 10    | 7     |
| 埼玉大学             |       | 1     |       |
| 千葉大学             | 1     | 4     | 1     |
| 東京大学             | 1     |       | 1     |
| 東京農工大学           | 1     | 2     | 1     |
| 東京工業大学           | 2     | 1     |       |
| 横浜国立大学           |       | 1     | 1     |
| お茶の水女子大学         |       | 1     |       |
| 電気通信大学           | 1     |       |       |
| 新潟大学             | 4     | 4     | 4     |
| 長岡技術科学大学         | 23    | 14    | 7     |
| 富山大学             |       | 1     | 1     |
| 金沢大学             | 3     | 4     | 2     |
| 福井大学             |       |       | 4     |
| 山梨大学             | 5     | 5     | 3     |
| 信州大学             | 2     | 4     | 3     |
| 岐阜大学             | 5     | 1     |       |
| 静岡大学             |       |       | 1     |
| 名古屋大学            |       |       | 1     |
| 名古屋工業大学          |       |       | 1     |
| 豊橋技術科学大学         | 5     | 1     | 3     |
| 京都大学             |       |       | 1     |
| 奈良女子大学           |       |       | 1     |
| 島根大学             |       |       | 1     |
| 岡山大学             | 1     |       | 1     |
| 広島大学             | 1     |       | 1     |
| 高知大学             |       | 1     |       |
| 九州大学             | 2     | 1     | 1     |
| 九州工業大学           |       |       | 1     |
| 琉球大学             |       | 1     | 2     |
| 早稲田大学            | 1     |       |       |
| その他の大学等          | 4     | 5     | 6     |
| 計                | 125   | 109   | 102   |

## 専攻科修了生大学院進学率 63%

|                |       |       |       |
|----------------|-------|-------|-------|
| 大学院進学状況：専攻科修了生 |       |       |       |
| 大学等名           | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 北海道大学大学院       |       | 1     |       |
| 東北大学大学院        | 2     | 9     | 5     |
| 筑波大学大学院        | 4     | 7     | 4     |
| 宇都宮大学大学院       |       |       | 1     |
| 群馬大学大学院        |       | 1     |       |
| 東京大学大学院        | 2     | 2     | 1     |
| 東京工業大学大学院      | 8     | 2     | 8     |
| 京都大学大学院        | 1     | 2     |       |
| 大阪大学大学院        |       | 1     |       |
| 広島大学大学院        |       | 2     |       |
| 九州大学大学院        | 1     |       |       |
| 総合研究大学院大学      | 1     |       |       |
| 奈良先端科学技術大学院大学  | 1     | 1     | 2     |
| 長岡技術科学大学大学院    |       | 1     | 2     |
| 北陸先端科学技術大学院大学  |       |       | 1     |
| その他の大学院等       |       | 1     |       |
| 計              | 20    | 30    | 24    |

## 就職率ほぼ 100%

過去3年の主な就職先（令和4年度求人数 3,107件）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| (株) JAL エンジニアリング／(株) SUBARU<br>／(株) 小松製作所／(株) ティー・エヌ・エー／(独) 水資源機構／DIC (株)／DMG<br>森精機 (株)／FDK (株)／KDDI エンジニア<br>リング (株)／NTT 東日本グループ会社／ア<br>イリスオーヤマ (株)／旭化成 (株)／アマゾ<br>ンジャパン合同会社／出光興産 (株)／キヤ<br>ノン (株)／協和キリン (株)／キリンビー<br>ル (株)／五洋建設 (株)／サントリースプロダ<br>クツ (株)／信越化学工業 (株)／セイコー<br>エプソン (株)／ソニーエンジニアリング<br>(株)／ダイキン工業 (株)／電源開発 (株)<br>／長野県／日東電工 (株)／日本たばこ産業<br>(株)／東日本旅客鉄道 (株)／本田技研工<br>業 (株)／三井住友建設 (株)／三益半導体<br>工業 (株) |
| 専攻科                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| (株) 資生堂／(株) 日立製作所／(株) 富士<br>通マーケティング／FDK (株)／旭化成 (株)<br>／キヤノンメディカルシステムズ (株)／三<br>和工機 (株)／シャープ (株)／中外製薬工業<br>(株)／東京電力ホールディングス (株)／東<br>日本高速道路 (株)／東日本積水工業 (株)／<br>凸版印刷 (株)／日東電工 (株)／日本貨物鉄<br>道 (株)／富士フイルム (株)                                                                                                                                                                                                        |





3年生「工作実習」

## M 機械工学科

### Mechanical Engineering

エンジンや自動車、航空機、ロボットなどを設計・開発するために必要な勉強をするのが、機械工学科です。機械工学科では、力学を中心とする機械工学の基礎学力を重視したカリキュラムを組んでいます。また、メカトロニクス技術、設計技術、工作機械を用いたものづくり教育にも力を入れています。



Student's Voice

機械工学科4年  
Y・R  
私立本庄東高等学校附属中学校出身

皆さんは工作が好きですか？ 工作が好きだという人に推したいのがこの機械工学科です。機械工学科には「工作実習」という授業があります。そこでは、今までにない工作を経験できます。工作機械を用いた金属の削り出しはもちろんのこと、溶接をしたり、スターリングエンジンを作ったりもします。中でも僕が高専で一番興奮するのは3Dプリンターです。コンピュータを使って設計したものを自らの手で創り出す喜びは最高です。他にも設計製図やプログラミング、電子部品の配線、マイコン制御など、幅広く学ぶことができるのも機械工学科の魅力です。皆さんも機械工学科でワクワクする“ものづくり”を学んでみませんか？

Teacher's Voice

機械工学科 准教授  
矢口 久雄



機械工学は日本を支える“ものづくり”の原点とも言えます。また、SDGsやカーボンニュートラルを達成する上でも重要で、明るい未来をつくる学問でもあります。実習では工場の充実した設備を使って、伝統的な機械加工の技能を学んだり、コンピュータ制御による最先端の工作機械について学んだりします。さらに、学年が上がるにつれて、機械が動く原理や本質に迫っていき、関連する高度な専門理論を修めるとともに、機械設計に求められる様々な能力を鍛えていきます。卒業生は、機械系はもとより、メカトロニクス系やコンピュータ系、食品系、インフラ系など、多方面で活躍しています。女子学生も増えており、機械系女性エンジニア“メカジョ”を目指す方にもオススメです！



<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/mechanical/>



4年生「工学実験」

## E 電子メディア工学科

### Electronic Media Technology

テレビやコンピュータなど、現代生活にあふれるエレクトロニクスに必要な勉強をするのが、電子メディア工学科です。電子メディア工学科では、電気・電子・情報分野はもちろん、これらの技術の基礎になる物理学や数学などの自然科学教育を重視したカリキュラムを組んでいます。



Teacher's Voice

電子メディア工学科 教授  
五十嵐 睦夫

目では見えない小さな電子ですが、今日ではそれをめぐる様々なミクロ現象を観測できます。その陰には必ず電子素子とそれで構成される電子回路があり、それこそまさに電子メディア工学科での学習対象です。その修得は決して容易なものではありませんが、十分に噛み応えがある味わい深いものです。そこには先人の知恵が凝縮されています。本学科でじっくり学ぶことで、その思考過程を追体験することができるでしょう。そのような探求に魅力を感じるなら、あなたも我々の仲間に加わりませんか。電子メディア工学科には、そのようなあなたにとって理想的な学習環境が備わっています。電子の世界に横たわる論理に思いを馳せた先人の世界を垣間見るができることでしょう。



<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/electronic/>

Student's Voice

電子メディア工学科4年  
O・A  
行田市立南河原中学校出身

近年では、携帯電話等の電子機器が身近に溢れており、「電気」を日頃から使っています。電子メディア工学科では、このような電気・電子に関係する学問を数学や実習を通して学ぶことができます。主な実習は、回路制作や電子機器の測定、プログラミングと多岐に渡ります。早い段階から実践的な学習ができるため、高いスキルが身につきます。1年生から専門的な知識を学ぶのには不安がありましたが、技術職員や経験豊富な先生方の丁寧なサポートのおかげで安心して取り組みました。電子メディア工学科は、「幅広い分野」に必要とされているため、電気系に興味がある人はもちろんのこと、「工学」に興味があるという方にもオススメです。是非、皆さんと一緒に学んで見ませんか？







4年生「オブジェクト指向プログラミング」

# J 電子情報工学科

## Information and Computer Engineering

コンピュータや通信機器の設計開発、これらを用いた情報処理・情報通信などの技術開発に必要な電子工学・情報工学を修得するのが電子情報工学科です。

電子情報工学科では、専用のサーバーに接続したパソコンを一人一台利用できる環境で、高度で専門的なプログラミング教育を行っています。

Student's Voice

電子情報工学科4年  
M・M  
高崎市立吉井西中学校出身

小さな板に映る画面を動かし、離れた人と会話ができるスマートフォンのように、昔の人々からすれば信じられないような技術が現代にはたくさんあります。これらは魔法などではなく、半導体や回路といった電子の分野、通信やプログラミングといった情報の分野の知識や技術によって成り立っています。そして、この二つの分野を学んでいくのが電子情報工学科です。

この学科では、専門科目の授業を通して、先ほど挙げたような幅広い項目を学んでいきます。また毎週行われる実験実習では、実際に回路やプログラムを組み、知識と体験を結びつけることができます。これらを学ぶほどに、現代の情報社会の仕組みを理解していくことができるのは、この学科でしか味わえない喜びだと思っています。コンピュータやプログラミングに興味のある方、電子情報工学科と一緒に学んでみませんか？

Teacher's Voice

電子情報工学科 准教授  
渡邊 俊哉



今の時代、スマートフォンは生活に欠かせないデバイスとなっています。一番身近なコンピュータの一つだといえるでしょう。また、AI技術の発展によって、ファミレスでの配膳ロボットなど人の作業であったものがコンピュータに代替されている光景をよく見かけるようになりました。他にも、身近にあるほぼ全ての家電製品には小型のコンピュータが入っています。これらの仕組みについて気になったことはないでしょうか。

電子情報工学科では、コンピュータに関する知識をハードウェア・ソフトウェアの両面のカリキュラムから学習することができます。その上で、実験実習での実践を通して知識を習熟させ、コンピュータの利用だけでなく、設計開発を行う高度なエンジニアの育成を目標としています。電子情報工学科で学び、「コンピュータと未来を拓く」エンジニアを目指してみませんか。



<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/information/>



3年生「物質工学実験Ⅲ」

# K 物質工学科

## Chemistry and Materials Science

物質工学科では、原子や分子、物質、生命現象などにかかる専門的基礎を学習するとともに、これらをベースとして、ナノテクノロジーやバイオテクノロジーを駆使した新しい物質の創造や応用について学びます。4年生からは「材料化学コース」または「生物工学コース」のいずれかを選択し、より専門的な勉強をします。

Teacher's Voice

物質工学科 教授  
羽切 正英



持続可能な未来社会をつくるためには、何が必要でしょうか？資源やエネルギーを高効率で利用する技術を生み出すこと。新規の物質や材料を創り出すこと。環境を守る技術や修復する技術を開発すること、など。私たちが未来に向かって取り組まなければならないことは山のようにあります。物質工学科で化学や生物工学(バイオテクノロジー)を学ぶことは、皆さんがそう遠くない将来、このような課題に取り組むための大きな力になります。

物質工学科のカリキュラムには、基礎から応用に至るまで様々な科目が配置されています。これにより、原子や分子といったミクロな世界の視点に立って考える、基礎的な、あるいは理論的な化学について学べると同時に、原子や分子から形づくられる様々な「物質」の性質や活用方法、製造技術など、実用的な内容についても学ぶことができます。また、実験科目を通じ、化学系ならではの器具や分析装置に1年次から触れ、低学年のうちから実践的な化学や生物工学について学ぶことも物質工学科の特徴です。

群馬高専物質工学科で学び、日本の、そして地球の未来を築く一歩を踏み出しませんか？



<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/chemistry/>

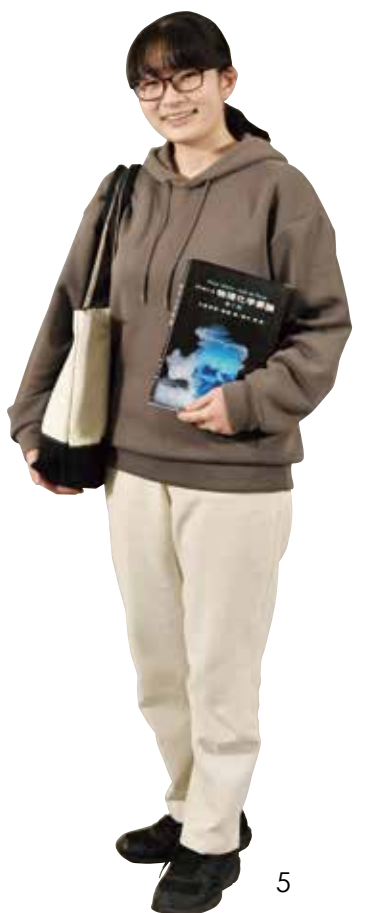
Student's Voice

物質工学科4年  
S・R  
桐生市立清流中学校出身

炎色反応を知っているでしょうか？簡単に説明すると、金属を炎の中に入れてみると、炎がその金属特有の色を示すような反応のことで。この反応を初めて見たとき、炎が赤と青以外の色を示す事実と、何よりその美しさに衝撃を覚えました。

物質工学科では、中学校では「理科」という一つの科目の中で学んだ内容を更に細分化し、その中でも化学・生物分野を中心に「有機化学」、「無機化学」、「物理化学」、「生物学」、「生化学」など様々な分野に分け、それぞれを基礎から専門的なことまで深く学んでいきます。具体的には、化学反応の進み方、物質の構造、生体内で起こっている反応などを学ぶことができます。また、一年生から本格的な実験を行います。高専には充実した実験器具が揃っており、それらを使った実験によって、知識はもちろん、様々な実験操作やデータ処理を早い段階から実践的に身につけることができます。

世の中は神秘的かつ美しい事象で溢れています。そんな不思議な事象について、私たちと共に物質工学科で学んでみませんか？







4年生「総合プロジェクトII」

## C 環境都市工学科

### Civil Engineering

環境都市工学科は橋、道路、トンネル、ダムなどの公共性の高い施設や構造物を建設し、維持管理するための勉強をする学科です。近年注目されている自然災害や環境問題の専門知識を習得し、『環境と調和したまちづくり』に役立つ最新技術を修得できるように教育課程を組み立てています。特に環境衛生、都市計画、防災に加え、CAD等のデジタル技術を活用した情報化施工に力を入れています。



#### Student's Voice

環境都市工学科4年  
K・K  
沼田市立利根中学校出身

蛇口をひねれば水が出る。外に出れば舗装された綺麗な道がある。人間よりはるかに重い車が渡っても橋は崩れない。そんな私たちにとってはただの日常の風景であり、当たり前となっているようなことの数々ですが、これらの基盤には全て工学が関わっています。このような人々の生活の基盤となるインフラがどのような考え方で、どのような方法で作られているかについて学ぶことができるのがこの環境都市工学科です。座学だけでなく、実習を通してより実践的な学習を行う設備も豊富に備っているので工学の基礎から深い知識まで幅広い分野の知識を身につけることができます。皆さんもこの環境都市工学科で学び、私たちの生活を支えるエンジニアになりませんか？

#### Teacher's Voice

環境都市工学科 准教授  
永野 博之



環境都市工学科では、道路や鉄道、橋やダム、水道や発電施設といった、社会基盤施設の計画や設計、建設や維持管理について学びます。また、環境調査やデータ分析などによる現象解明や災害対策も私たちの分野です。

“安全で安心な暮らしの形成”や“環境と調和した魅力的なまちづくり”を目指し、新しい社会の実現を様々な技術で支えます。このため、技術の幅が広く、ものづくりのスケールが大きいう特徴があります。

災害が頻発する中での経済発展を支えてきた日本の土木技術と安全性は、世界最高水準です。それらの技術を学びながら、少子高齢化社会への対応や再生可能エネルギーの活用など、これからの社会的課題への解決方法を考えていきます。

より良い暮らしのデザインや未来のまちづくりに魅力を感じる方は、ぜひ環境都市工学科で学んでみませんか。



<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/civil/>



1年生「数学」

## General Education

## 一般教科

■ 人文科学 技術者として社会で活躍するためには、専門的な知識と技術だけでなく、成熟した社会人としての視野の広さ、コミュニケーション能力も含めた高度な社会性が必要です。群馬高専では、全学科共通のカリキュラムを組み、豊かな人間性を育む一般教養教育を行っています。

■ 自然科学 あらゆる工学の基礎を支えるのが、数学、物理、化学、生物などの自然科学です。群馬高専では、各学科の特性も考慮したカリキュラムを組み、高等学校から大学2年生までのレベルに相当する自然科学系の科目の講義を行っています。

#### Teacher's Voice

一般教科(人文科学)准教授  
板谷 洋一郎



グローバル化が浸透した今日の世界では、世界中の様々なエンジニアがそれぞれの技術を国内外に発信することで、社会に大きな貢献をしています。このような世界で活躍できる人材を育成すべく、群馬高専では工学系の専門教育に重点を置くと同時に、一般教科の教育にも力を入れています。人文科学の科目(国語、社会、保健体育、外国語)の学習は、コミュニケーション能力、幅広い視点や思考力・洞察力といった社会性につながる力を磨くことに役立ちます。こうした力を身に付けることで、皆さんは専門科目で学んだことを、より広範囲に活用できるようになるのではないのでしょうか。担当の教員は、各分野の研究者・専門家でもあるので、豊富な知識と経験を通じて、皆さんが社会性を育むサポートをしてくれます。

専門科目で専門領域について造詣を深めると同時に、一般教養の科目にもしっかり取り組むことで、皆さんは、広い視野と教養を兼ね備えた技術者・社会人になることができるでしょう。

<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/general/>

#### Teacher's Voice

一般教科(自然科学)准教授  
北田 健策



数学や理科を勉強する中で、楽しいと思うことは何ですか？もししたら、公式や法則を覚え、問題に当てはめれば正解が出ることと答える人もいるかもしれませんが。

もちろん、このことは勉強が楽しくなるきっかけになることでしょう。しかしながら、数学や理科を学ぶ上でより大切なことは、単なる知識の暗記に止まらず、論理的に物事を考え、それらを表現する力を身に付けることにあります。皆さんが進む工学のどの分野でも必要となってくる力です。群馬高専で学ぶ中で身に付けていきましょう。

群馬高専の教員は皆、その道で活躍する研究者でもあり、確かな知識と経験を有しています。日々の学習に加えて、理工系人材として必要な物事の考え方や表現の仕方についても様々な角度から指導してくれるでしょう。







Fundamental Mechanics

### Teacher's Voice

専攻科長  
電子情報工学科 教授  
大墳 聡



専攻科は、高専での5年間で学んだ勉強や研究をもとにさらに2年間つけて学べる学校です。専攻科を修了すると大学卒業に相当する学士（工学）の学位が取得可能となります。講義科目としては、高専5年間で学んだことを基礎とした、より高度なものがたくさん用意されています。そして多くの講義が選択科目であり、履修する科目を自分で選んで学んでいただけます。高専から大学の3年次に編入学すると高専で5年時に行っていた研究が途切れてしまいますが、専攻科なら途切れることなく3年間連続して研究が行えます。専攻科からの進路としては、就職率はほぼ100%ですし、就職より大学院への進学の方が多いのが群馬高専専攻科です。高専卒業後に専攻科へ進学というのはいかがでしょうか。



環境工学実験

## 専攻科 本科卒業後入学

### Advanced Engineering Course

本科における5年間の基礎の上に、大学3、4年次の課程に相当する、より高度で専門的な内容を積み上げて勉強するのが専攻科です。機械、電子メディア、電子情報工学を主に修める生産システム工学専攻と、物質、環境都市工学を主に修める環境工学専攻の2コースがあります。

### Student's Voice

生産システム工学専攻2年  
M・Y  
高崎市立入野中学校出身

本科での5年間の学びを、より専門的・発展的に伸ばしていきたい学生は、専攻科への進学を考えてみてはどうでしょうか。

専攻科では、慣れ親しんだ環境を変えることなく勉強や研究に集中することができます。さらに、学会発表や企業との共同研究の機会があり、技術者や研究者を目指す学生にとって有意義な経験を積むことができますという魅力があります。また、複数の学科の卒業生が同じ専攻に所属するため、異なる分野出身の学生との交流を通して、自らの知識を広げることができます。

自分の興味や関心を追求したい、専門分野を極めて社会で活躍したいという学生にとって、専攻科は最適な環境を提供してくれます。未来の技術者・研究者の皆さんの進学を待っています。

<https://www.gunma-ct.ac.jp/departments/advanced/>



### Student's Voice

環境工学専攻2年  
S・K  
高崎市立寺尾中学校出身

高専には本科で5年間にわたり一般科目や専門科目について学んだ後、さらに2年間にわたってより深く専門分野について学ぶことができる専攻科という場があります。専攻科は本科の5年間で慣れ親しんだ環境のまま、研究や専門分野の勉強などの自分の学びたいことに専念できるという特徴があります。また、専攻科では他の大学に進学した場合より1年早く研究に取り組めるため、その分、より多くの学会発表の経験や専門的な知識等を積むことができるのも魅力の1つです。

大学とは違った環境の専攻科で学んだ経験や知識は、大学院に進学しても、ひいては技術者・研究者になっても有用なものになってくると思います。技術者・研究者を目指す人はぜひ専攻科への進学を考えてみてください。



## Campus Calendar | キャンパスカレンダー

球技大会・工華祭・社会見学旅行等、一年を通して楽しいイベントがいっぱいです。

|    |           |                                                                                  |
|----|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | April     | 入学式・始業式<br>1年生ガイダンス<br>健康診断<br>企業説明会<br>開校記念日(4/23)                              |
| 5  | May       |                                                                                  |
| 6  | June      | 前期中間試験<br>球技大会                                                                   |
| 7  | July      | 関東信越地区体育大会<br>前期定期試験                                                             |
| 8  | August    | 第1回学校見学会<br>夏季休業(8月上旬～9月)<br>体験授業<br>海外研修(8月下旬～9月下旬)<br>全国体育大会<br>編入学試験<br>入試説明会 |
| 9  | September | 海外語学研修(9月上旬)<br>社会見学旅行(4年生)<br>研修旅行(1・2・3年生)                                     |
| 10 | October   | プログラミングコンテスト<br>ロボコン地区大会<br>寮祭<br>工華祭(学園祭)[体育祭と隔年で開催]                            |
| 11 | November  | 第2回学校見学会・入試説明会<br>英語弁論大会<br>ロボコン全国大会<br>後期中間試験                                   |
| 12 | December  | デザインコンペティション<br>芸術鑑賞会[隔年で実施]<br>冬季休業(12月下旬～1月上旬)                                 |
| 1  | January   | 推薦入学者選抜<br>卒業研究発表会                                                               |
| 2  | February  | 後期定期試験<br>一般入学選抜・帰国子女特別選抜<br>学年末休業・春季休業(2月下旬～3月)                                 |
| 3  | March     | 卒業式・修了式<br>海外語学研修(3月下旬)                                                          |

※ 基本となる行事カレンダーです。年度によって変更があります。



入学式



4年生社会見学旅行(大阪)



工華祭



ロボコン



卒業式・修了式



## Student Life | 学生生活

通学生も寮生も元気に高専ライフを楽しんでいます。自由な校風のもとで、自分のやりたいことに積極的に挑戦しています。がんばっている通学生、寮生の生活の一部を紹介します。

### Ⅰ 通学生 K・H

電子メディア工学科3年 渋川北中学校出身

|       |       |                         |
|-------|-------|-------------------------|
| 5:45  | 起床    | ゆったりとした朝を過ごします。         |
| 6:00  | 朝勉    |                         |
| 7:20  | 登校    |                         |
| 8:10  | 学校到着  | 授業まで教室でゆっくりします。         |
| 8:50  | 授業開始  | 90分授業です。                |
| 12:00 | お昼ご飯  | 通学生はお弁当、購買の食べ物、食堂が基本です。 |
| 12:50 | 授業再開  | 眠気が意識を削いできます。           |
| 16:00 | 部活動開始 | 部活は自由度が高いです。            |
| 19:30 | 下校    | 駅の時間に注意します。             |
| 20:45 | 帰宅    |                         |
| 21:00 | 夕食    |                         |
| 22:00 | お風呂   | 湯船に浸かります。               |
| 22:30 | 就寝    | 早めに寝て明日に備えます。           |



#### ■ 高専の授業や印象は？

90分授業、内容、実験は段々と慣れてしまうので、あまり心配はいりません。時間が経過するごとにモヤモヤが腑に落ちることもよくあります。学校自体は休みが多く自由度が高いのが魅力です。やりたいことを好きなだけできます。その反面、誘惑や煩惱が大きくなりやすく、私はそれらのコントロールに四苦八苦しています。そんな経験ができるのも高専ならではのと思っています。充実した高専ライフは主体的な行動によって生まれると思います。

#### ■ 普段の生活は？

高専では、友人や先輩方との支え合いが活発です。部活動や球技大会などのイベントを経て、様々な学年・学科との関わりができます。フレンドリーな雰囲気があるので、馴染みやすい校風だと思います。自習授業でクラスメートと勉強したり、先輩方に教えてもらったりして楽しく学習してる人も多いです。それが試験で好影響を及ぼすこともよくあります。友人と一緒に難解な専門学習や、日頃の悩みなどを乗り越えましょう。

#### Time Schedule

|                       | MON   | TUE   | WED                | THU   | FRI   |
|-----------------------|-------|-------|--------------------|-------|-------|
| 1・2時限<br>8:50-10:20   | 電気回路Ⅰ | 国語講読  | 数学AⅠ               | 電磁気学Ⅰ | 情報科学Ⅰ |
| 3・4時限<br>10:30-12:00  | 英語B   | 情報科学Ⅰ | 応用物理演習Ⅰ<br>電磁気学演習Ⅰ | 電気回路Ⅰ | 英語A   |
| お昼 12:00-12:50        |       |       |                    |       |       |
| 5・6時限<br>12:50-14:20  | 数学AⅠ  | 倫理    | HR                 | 工学実験  | 保健・体育 |
| 7・8時限<br>14:30-16:00  | 数学B   | 応用物理Ⅰ |                    |       |       |
| 9・10時限<br>16:10-17:40 |       |       |                    |       |       |
| アフター<br>スクール          |       |       |                    |       |       |

### Ⅰ 寮生 A・M

環境都市工学科3年 太田市立生品中学校出身

|       |      |                   |
|-------|------|-------------------|
| 7:00  | 起床   | 登校時間がない分ゆっくり寝れます。 |
| 7:30  | 朝点呼  | ラジオ体操！            |
| 8:00  | 朝ご飯  | パンとご飯から選べます。      |
| 8:30  | 登校   | 5分程でクラスに着きます。     |
| 8:50  | 授業   | 90分授業がとても長いです。    |
| 12:30 | お昼ご飯 | 寮の食堂で食べます。        |
| 12:50 | 授業   | 午後は眠くなるので注意です。    |
| 16:00 | 部活動  | 兼部してる人もたくさんいます。   |
| 18:30 | 夜ご飯  | 週一で出るポテトが人気です。    |
| 19:30 | お風呂  | 大きいお風呂に学年ごとに入ります。 |
| 22:00 | 夜点呼  | 門限は22時です。         |
| 24:30 | 就寝   | テスト期間以外は24時に消灯です。 |

#### ■ 高専の授業や印象は？

授業が1コマ90分なので始めは少し不安でしたが、ほとんどの先生が慣れるまで途中で休憩を入れてくれるので心配はいりません。部活動に所属すると、横だけでなく縦の繋がりができるので分からないことがあればすぐに教えてもらうことができます。また、職員室がなく先生1人1人が教員室を持っているので、聞きたいことがあれば気軽に先生に質問しに行くことができるのも大きな特徴です。

#### ■ 寮生活は？

寮は厳しいと思われがちですが最低限のルールさえ守れば、買い物に行くのも友達と遊ぶのも自由です。また、テスト期間は友達勉強しているのが目に見えて分かるので、「自分も頑張ろう！」という気持ちになれます。寮生活では、社会人になったときに使える礼儀の基本(挨拶など)をしっかりと学べたり、親元を離れて暮らすことに慣れることもできるので、将来的にも役に立つのではないかと思います。

#### Time Schedule

|                       | MON            | TUE   | WED   | THU      | FRI   |
|-----------------------|----------------|-------|-------|----------|-------|
| 1・2時限<br>8:50-10:20   | 保健・体育          | 構造力学Ⅰ | 応用物理Ⅰ | 英語B      | 地盤工学Ⅰ |
| 3・4時限<br>10:30-12:00  | 英語A            | 倫理    | 水理学Ⅰ  | 情報処理Ⅱ    | 国語講読  |
| お昼 12:00-12:50        |                |       |       |          |       |
| 5・6時限<br>12:50-14:20  | 数学B            | 環境生物Ⅰ | HR    | コンクリート工学 | 数学AⅠ  |
| 7・8時限<br>14:30-16:00  | 環境都市工学<br>実験実習 | 数学AⅠ  |       |          |       |
| 9・10時限<br>16:10-17:40 |                |       |       |          |       |
| アフター<br>スクール          |                |       |       |          |       |

## Campus Life Support | キャンパスライフサポート

学校生活を送ると、どんな人でもいろいろな困ったことや悩みが出てきます。そのような時、学生一人ひとりが安心して学べるようにするため、多様なサポート体制を整えています。

### 学生相談室

本校では学生生活を安心して送るための支援体制も整備されています。その一つとして、学生相談室が常設され、本校教職員のみならず、公認心理師、臨床心理士や精神科医の外部カウンセラーが相談室スタッフとして、学生や保護者の相談に応じています。



カウンセラー・公認心理師による相談

### TA補講

5年生及び専攻科に進学した先輩学生がTA(ティーチング・アシスタント)となつて放課後に補講を実施しています。主に低学年(1・2年生)の希望する学生に対して、数学・物理といった理工系の基礎となる科目の学習をサポートする他、高専に合った勉強法を丁寧に教えてくれます。



先輩学生によるTA補講

※ また、上記の相談室以外にも、別の相談体制や相談委員等を設けており、ウェブサイトに掲載してあります。

### 国際交流

3年以上の学年にはアジアを中心に様々な国からの留学生が在籍し、日常的に国際交流の場を得ることができます。

また、学生が国際的な広い視野を持てるように、海外の大学との教育研究交流を推進しています。



ニューカッスル大学(オーストラリア)での語学研修



モンゴル3高専と群馬高専の交流

### ダイバーシティ

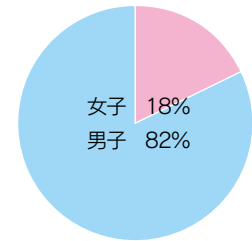
**Q1** 女子学生の人数はどれくらいですか？

**A1** 群馬高専全体の男女比

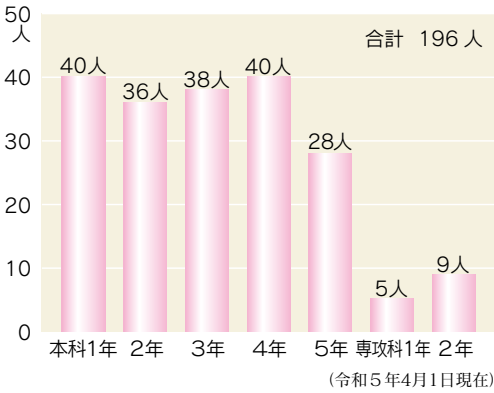
■ 男子 887人

■ 女子 225人

※ 本科と専攻科を合わせた数値です。

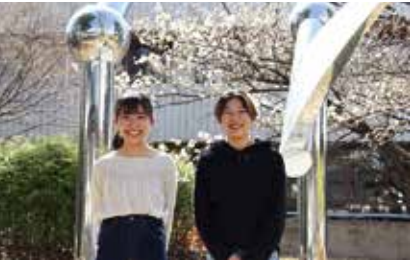


#### 群馬高専の女子在籍者数



**Q2** 高専は女子が少ないイメージがあるのですが、体育の際の着替え等はどうしていますか？

**A2** 女子更衣室は全部で4ヶ所あるので着替えの際はそちらを使用しています。また、校内の多目的トイレ5ヶ所にチェンジングボードが設置されています。



#### 女子学生からのメッセージ

●高専は女子が少ないですが、その分女子どうしのまとまりが強く、とても仲が良いと思います。入学前は体育の授業が不安でしたが、女子ルールがあり楽しいです。実験や実習は、男女関係なく協力していて、楽しい学校生活を送っています。

●専門的な勉強を早くから行う高専では、お互いに助け合い生活していくことが特に重要になると思います。試験前などには男女関係なく勉強を教え合い、共に高め合える充実した日々をすごしています。



# 群馬高専学生寮のご紹介

群馬高専学生寮では、約 140 名の寮生が保護者の元や母国を離れ暮らしています。学生寮は学校の敷地内に位置し、緑に囲まれた環境にあります。年齢や性別はもちろん、出身も言語も宗教も考え方も好みも得意不得意もそれぞれ違う寮生たちが、季節毎のスポーツ大会、スイカ割り、寮祭、焼き芋大会、予餞会(卒業生を送る会)などのイベントを通して交流を深め、充実した生活を送っています。

## 学生寮について

群馬高専には男子寮と女子寮があります。高専の寮は下宿ではなく、教育寮という寮生が共同生活を通して人間的に成長することを目指す制度になっています。寮には寮生で組織する寮生会があり、自主的に楽しく豊かで規則正しい生活をしています。また、寮を担当する先生や職員がいて、寮生会の指導、寮生の健康管理などに当たっています。寮生活は、友達を作ったり、課外活動をするのにもベストな環境です。



学生寮（男子寮）



居室



洗濯室

### 寮費（月額）

|        |            |
|--------|------------|
| 寄宿料※1  | 1人部屋 800 円 |
| 食費（3食） | 約 38,000 円 |
| 寮運営費※2 | 6,500 円    |

※1 現在は2人部屋を1人部屋として使用しています。  
※2 寮運営費は光熱費・生活消耗品購入費などに充てられます。



寮食堂



談話室



学習室

## 学生寮のイベント

学生寮では年間を通して様々なイベントがあり、学年を問わず寮生がお互いに楽しみながら交流を深めています。

### 予餞会



### 焼き芋大会



### BBQ

※今年度より各種イベントを復活させていきます

## 寮生の一日の例

|       |      |                                                           |
|-------|------|-----------------------------------------------------------|
| 7:00  | 起床   |                                                           |
| 7:30  | 朝点呼  |                                                           |
| 8:00  | 朝食   | ほうれん草スープ／オリーブオイル／鶏肉／トマト／キャベツのサラダ／カレー／キャベツと玉ねぎのスープ／オリーブオイル |
| 8:40  | 登校   | ★10分前でも間に合います！                                            |
| 8:50  | 授業   | ★最初は長く感じるけど慣れれば大丈夫                                        |
| 12:00 | 昼食   | こまつ菜やしん／オリーブオイル／鶏肉／トマト／キャベツのサラダ／カレー／キャベツと玉ねぎのスープ          |
| 12:50 | 授業   | ★眠いけど何とか我慢！                                               |
| 16:00 | 授業終了 | ★この後は勉強や部活動に行く人もいます                                       |
| 18:00 | 夕食   | 鶏肉／オリーブオイル／鶏肉／トマト／キャベツのサラダ／カレー／キャベツと玉ねぎのスープ               |
| 19:00 | お風呂  | ★他学年の人とも話せます                                              |
| 22:00 | 夜点呼  | ★眠い日もこの時間までは頑張ります                                         |
| 23:00 | 就寝   |                                                           |

寮食堂メニューの一例

### 寮生に聞いてみました！

#### 高専の授業や印象は？

低学年のときから専門的な知識を習得することが特に目を引きますが、同時にそれは未知の世界に放り出されるということだと思います。一般教科でもそうですが、分からないことを放っておくと理解できることも理解できなくなってしまう。そのため、今まで以上に先生に質問する事を強く勧めます。また、全体的な印象としてはやはり自由度が高いです。髪を染めたりピアスが空いていたりしますが、そんな人でも良い印象を取っているの。結果として見ればある程度許されているというイメージです。

#### 寮生活は？

各人の部屋にスピーカーがあるため、朝はラジオ体操の音楽で起き、授業開始20分前に「校歌」が大音量で流れるため、まず遅刻することはありません。また、食事の時間も決まっているので規則正しい生活を送る事ができます。食事以外の家事は全て自分でこなさなければならぬので慣れるまでは大変です。何と云っても登下校の時間が長いので勉強や趣味に回せる時間が減ります。運動不足になりがちなので適度な運動を心がけるのも大切です。（機械工学科 男子）

## Clubs & Facilities | クラブ・施設紹介

体育系・文化系合わせて32のクラブ・愛好会があります。各クラブ・愛好会は学生が主体となって運営され、NHK主催のロボコンをはじめ、様々な競技会、コンテストに参加しています。



サッカー部



バレーボール部



バスケットボール部



電算部



ロボット研究会



エコノパワー愛好会

### 体育系クラブ

- 陸上競技部 ● 硬式野球部 ● サッカー部 ● バレーボール部 ● バスケットボール部 ● ソフトテニス部 ● 卓球部 ● 柔道部 ● 剣道部 ● テニス部 ● バドミントン部 ● 水泳部 ● 自転車愛好会 ● ダンス愛好会 ● ラグビー愛好会

### 文化系クラブ

- 吹奏楽部 ● 文芸部 ● 写真部 ● 美術部 ● 理科部 ● 茶道部 ● SF研究部 ● 電算部 ● 演劇部 ● 将棋部 ● ロボット研究会 ● コンクリートカヌー愛好会 ● エコノパワー愛好会 ● 構造デザイン研究会 ● 3Dデザイン研究会 ● クイズ研究会 ● 無線通信愛好会

## 充実の施設でスクールライフを満喫！



**地域連携テクノセンター** 地域産業の技術開発を一層推進するために、共同研究や受託研究を実施する最新の分析・計測機器を備えた拠点施設です。



**情報基盤センター** 昭和50年に全国の高専の中で最初に設置され、コンピュータも最新のものが設置されています。



**図書館** 専門書の他、一般書籍・雑誌・ビデオテープ・DVD・CD-ROM等を有し、その件数は、約10万件を数えます。



**群峰会館** 1階には学生食堂および売店、2階には大会議室・和室等があり、会議やクラブ活動に利用されています。



**ヘガソス** 25周年を記念して設置されたモニュメントです。



**武道館** 剣道部と柔道部が活動しています。



**西湖** 敷地内にあり、学生や教職員、近隣住民等も野鳥の観察に訪れ、野鳥観察会も行われています。



**学生食堂** 昼食時にはにぎわいます。



## 活躍する先輩からのメッセージ



### 機械工学科



岩手大学理工学部システム創成工学科  
機械科学コース助教  
博士(工学)  
Y・K

[高崎市立高南中学校出身]

- 平成16年度 機械工学科卒業
- 平成23年度 神戸大学大学院工学研究科  
博士後期課程修了

入学式の際に、機械を創れる人になりなさい、と言われたことは今でも強く覚えています。群馬高専の機械工学科では機械に関する専門知識の基礎を学びました。機械全般についての座学と同時に工場での機械実習も行っていくので、授業で得た知識をそれぞれがどのように関わっているのか関連付けながら身に付けていくことができます。そのなかで私は特に機械をどのように制御して動かすかということに興味を持ちました。その興味を突き詰めていくうちに、設計や人間科学などにも興味を持ち、今はそれらの研究を進めています。結局、私自身は実際に機械の開発や製造をする仕事には就きませんでしたが、現在でも自分の中で、そのベースとなっているのは群馬高専で学んだことです。

群馬高専の他学科には、電子メディア・電子情報・物質工学・環境都市、それぞれの専門分野を学んでいる仲間たちがいます。彼らと交流することで、工学についての広い視点や、かけがえのない友人を得ることができますと思います。

### 電子メディア工学科



株式会社NTTDコム  
修士(科学)  
S・T

[草津町立草津中学校出身]

- 平成20年度 電子メディア工学科卒業
- 平成22年度 筑波大学第三学群工学基礎学類卒業
- 平成24年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻修士課程修了

自動で運転する車、接客をするロボット、手のひらにあらゆる情報を届けてくれるスマートフォン—私が中学生の時には夢のように思えた技術が次々と実現されてきています。このような新しい技術を自分が作れるとしたらワクワクしませんか？そんな想いを持っている人にとって高専は最高の環境といえます。ものづくりに必要な知識を高校1年から、各分野の専門家による講義と実験を通じて習得することができます。

私が卒業した電子メディア工学科は電気や通信を専門に学ぶ学科ですが、基礎となる数学や物理にも力を入れているバランスの良い学科です。高専の5年間で基礎をしっかり学ぶことは専門科目の理解にもつながりますし、卒業後の選択肢も広がってくれます。大学や企業で新しい分野に挑戦したい時、またはしなければいけない時、電子メディア工学科で学んだ土台は大きな助けになるはずです。実際、1期生として卒業した私の同級生は自動車、電機、IT、医療機器、データ分析、インフラ、官公庁など幅広い業界の最前線で活躍しています。

電気や通信に興味がある方はもちろん、専門分野をじっくり考えていきたい方におすすめの学科です。ぜひ挑戦してみてください！

### 電子情報工学科



ヤフー株式会社  
I・T

[玉村町立南中学校出身]

- 平成26年度 電子情報工学科卒業
- 平成28年度 専攻科生産システム工学専攻修了
- 平成30年度 東北大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻修了

現代では情報工学の技術はあらゆる分野で有効活用できます。

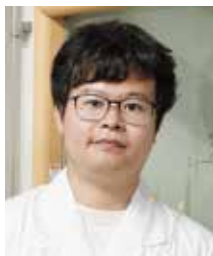
群馬高専の電子情報工学科では、その技術の基礎を1年生の頃から学ぶことができます。早くから学ぶことは、最先端の技術に早くに追いつくことが可能であることはもちろん、将来像を早くから明確にできることもメリットの一つです。

ここまで聞くと、情報工学の分野しか知ることができないのか、人生の選択をこんなに早い段階で決めてしまってもいいのか、と不安に感じる方もいるかもしれません。しかし、自由な校風である群馬高専であれば、情報工学を学びつつもその他の分野に目を向けることが可能です。実際に電子情報工学科の友人には情報工学以外の分野で活躍をされている方も多くおられます。

自由な校風というのは自身でやることを選択する必要があるため、一歩間違えば何も成果が得られないということもあります。けれども、しっかりと自制することができますればどんなことでも成し得る環境であることは間違いないでしょう。

自分には大変かもしれないと感じるかもしれませんが、学友と協力することで乗り越えることができます。少しでも気になったら、ぜひ本校について調べてみてください。みなさんは人生の大きな岐路に立っています、その大きな一歩の一助となれたら光栄です。

### 物質工学科



東京大学新領域創成科学研究科  
物質系専攻博士後期課程3年生  
日本学術振興会特別研究員DC2  
O・K

[渋川市立渋川中学校出身]

- 平成27年度 物質工学科卒業
- 平成29年度 専攻科環境工学専攻修了
- 令和元年度 京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻 修士課程修了

私が高校ではなく、群馬高専に進学した理由は、早い段階から好きな化学を専門的に学習したいと思ったからです。物質工学科では、1年生の頃から実験実習を行い、レポートを書きながら科学的な考察力を身につけます。また、大学相当の専門科目の授業も早い時期から始まり、本科5年生からは卒業研究を行います。専攻科に進学した場合は一貫して3年間研究活動を行うことができ、大学生よりも多くの研究経験を積むことができます。現在、私は大学院にて研究をしています。高専で学んだ知識や研究経験が役立つことが多く、高専で学んでよかったと日々痛感しています。

また、何よりも、群馬高専に進学してよかった点は、科学に熱意ある友人に出会えたことです。学問に対して熱意がある友人と話をしながら学習を進め、卒業後も同じ分野で活躍している友人を持てたことは人生の大きな財産です。

科学に興味があり、将来科学者になりたい人にとって群馬高専への進学は最適な選択肢ではないかと思います。受験という大きな人生の分岐点にあたり、今一度、将来自分が何をやりたいのかを考え、もし科学の道に進みたいのであれば群馬高専を検討してみてもいいかもしれません。

### 環境都市工学科



独立行政法人水資源機構 利根導水総合事業所  
秋ヶ瀬管理所 設計担当  
K・S

[伊勢崎市立境西中学校出身]

- 平成27年度 環境都市工学科卒業
- 平成28年度 独立行政法人水資源機構入職

私が群馬高専への入学を決めたのは、群馬高専に在学していた兄が毎日楽しそうに通っていた姿がとても印象的で、私も兄のような楽しい学校生活を送りたいと思ったのが1番の決め手でした。高専生活は非常に充実した5年間でした。入学当初は、制服が無く、髪を染めてもOK、ピアスの穴を開けてもOKといった自由な校風に驚いた記憶があります。

環境都市工学科の授業では、自分たちが作ったコンクリートを強度確認のために破壊したり、実際に工事現場などで用いられるような機械を使って測量実習をしたり、構造物の図面を作成する“CAD”というツールを使用したり、現在の仕事でも活用できる実践的な授業が非常に多かったです。

群馬高専卒業後、私は独立行政法人水資源機構に入職し、現在は利根導水総合事業所で設計工務担当として働いています。水資源機構では、ダム・水路の建設や水管理、施設管理、環境配慮、老朽化した施設の維持補修、大規模地震に備えた対策の検討など、非常に幅広い内容の仕事を行っています。この幅広い仕事の中で、群馬高専で学んだ多くのことが非常に役に立っており、今でも授業で使用した教科書は、私にとって最高の参考資料となっています。

群馬高専は、技術者としての専門知識を学ぶ上で最適な学校です。高校受験という人生の大きな分岐点で、『群馬高専』を選択肢の1つとして考えてみてはいかがでしょうか。



## Question and Answer

# よくある質問

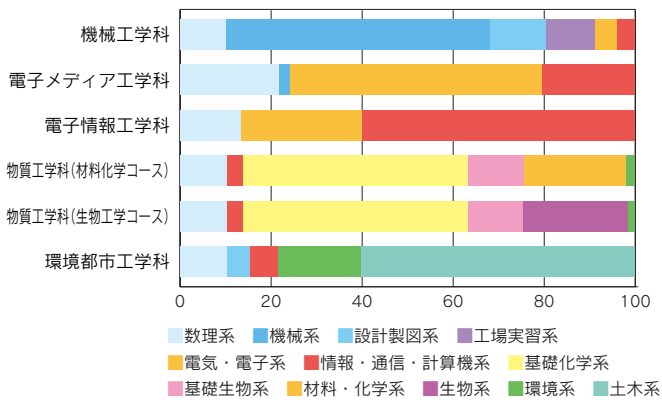
素朴なことから将来像まで、気になるギモンにお答えします。

## Q1 高専の教育の特色は何でしょうか？

**A1** 科学技術の分野では知的好奇心が旺盛な10代の時代から、いわば英才的な技術者教育を計画的に行うことが大変効果的と言われています。**本科では5年間の一貫した教育方針の下**、専攻科も含めると7年間、低学年の時から専門科目の基礎教育を始めます。そして実験・実習などの体験型学習を重視し、科学技術の基礎知識や理論に関する学習と体験型の学習とによる相乗的な教育を行うことに大きな特色があります。また、高専では、入学した人を学生といい、先生を教授・准教授・講師・助教といいます。高専の先生はそれぞれの専門分野の研究者でもあり、そのほとんどが、博士の学位を持っています。そのような教員スタッフが第1学年の段階から教えていることも大きな特徴です。

## Q2 各学科ではどんなことが学べますか？

**A2** 下の図は、各学科の専門科目(必修のみ)を分類して、おおまかな単位数の割合を示したものです。どの学科も専門分野を中心に、関連する周辺分野も取り入れた構成となっています。これらに加えて、高校および大学1・2年相当の一般科目が全学科共通であります。さらに、各学科には多様な選択科目もあります。



## Q3 高専にはどのような人が向いていますか？

**A3** 高専では低学年から数学や理科の授業が多く、これらの知識をもとにして専門科目の授業が進められます。このため、**数学や理科が好きな人**が向いているでしょう。**実験やものづくりの好きな人**もよいと思います。このほか国際化社会の技術者として活躍するために、英語が大切となり

ますので、英語も好きな人がよいでしょう。また、高専は比較的自由な校風なので、生活面では自己管理ができる人でなくてはなりませんし、学習面でも積極性・自主性が求められます。そして何より、日本を支える科学技術者となって世界で活躍したいという希望に燃えていることが大切です。

## Q4 混合学級について教えてください。

**A4** 1、2年生の各クラスは、すべての学科の学生が均等に混ざった構成になります。学科の垣根を越えて友人が得られるため、学生たちに好評です。

## Q5 転学科制度について教えてください。

**A5** 学科を変更したいとの学生の希望に応えるため、2年・3年次への進級時において、学業成績に基づき転学科を認める制度があります。

## Q6 卒業後の進路について教えてください。

**A6** 高専を卒業してから、もっと勉強したい学生のために、**大学3年次へ編入学**する道があります。編入学試験は、一般の入学試験と異なり、毎年5～8月頃に行われます。各大学は独自に試験を実施するので、日程が重ならない限り、複数の大学を選んで受験することができます。本校卒業生の主な編入学先の大学は本パンフレットの「進路状況」の表のとおりで、進学希望者はほとんどが現役で合格しています。また、**専攻科に進学**し、さらに高度な教育や研究の指導を受けることもできます。専攻科修了後に大学院に進学する学生も多く、その大学院進学状況も「進路状況」の表にまとめていますので、参照してください。本校卒業生の**就職**状況は良好で、希望者のほぼ全員が就職しています。昨年度の求人倍率は53倍であり、卒業生は本人の希望する会社等へ就職しています。初期の高専卒業生の中には、すでに大企業でも管理職になって活躍している人もいますし、海外で活躍している卒業生もたくさんいます。

## Q7 入学検定料(受験料)や学費について説明してください。

**A7** 国立高専の入学検定料(受験料)、入学金(入学金)、授業料は、法令で定められています。令和5年度

の場合は、下の表のようになります。

なお、推薦選抜を受験して不合格となった人が、一般選抜を受験する場合は、出願書類の提出および入学検定料の納入を再度行う必要はありません。

| 入学検定料    | 入学金      | 授業料(年額)   |
|----------|----------|-----------|
| 16,500 円 | 84,600 円 | 234,600 円 |

## Q8 授業料免除および奨学金制度について説明してください。

**A8** 4、5年生及び専攻科生は、令和2年4月より始まった高等教育の修学支援新制度の対象となります。この制度では、授業料等の減免(授業料と入学金の免除または減額)と給付型奨学金(原則返還が不要な奨学金)の2つの支援があります。

世帯の収入や学業などの要件に合う学生が支援の対象となり、給付型奨学金の対象者は授業料等の減免対象者となり、選考の上、授業料の全額、2/3、または1/3が免除されます。1～3年生については、高等学校等就学支援金が支給されますので、授業料の負担は概ね半額となりますが、平成26年度入学生より「所得制限」が導入され、一定以上の収入がある世帯(年収910万円程度)では、就学支援金が支給されないこととなりました。一方、新たな制度の下で、所得の状況によって就学支援金の加算がなされます。また、経済的理由により学資の支出が困難な学生には、選考の上、独立行政法人日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。この場合は、経済的理由のほかに、人物・学業ともに優れていることが条件です。なお、奨学金の種類と貸与月賦など、詳しくは募集要項をご覧ください。

## Q9 バイクの運転免許の取得や服装などの規則はどうなっていますか？

**A9** 高専は、言ってみれば高校生と大学生が同居している学校ですから、高校に比べるとかなり自由です。本校では、バイクなどの運転免許については、取得を制限していません。原動機付自転車や自動二輪車(ただし、125cc以下に限る)、自動車による通学は、**交通機関の状況や通学距離などを考慮して、一定の条件のもとに許可**しています。ただし、1年生には許可していません。また、本校には制服はありません。通学時には本校学生としての品位を損なわないよう留意し、見苦しいものや不潔なものであってはならないと定めています。



## Q10 学生寮について説明してください。

**A10** 群馬高専には、男子寮と女子寮があります。定員\*は男子寮105名、女子寮38名の計143名です。高専の寮は下宿ではなく、**教育寮**となっていて、**寮生が共同生活を通して人間的に成長**することを目指す場になっています。寮には、寮生で組織する寮生会があって、自主的に、楽しく豊かで規則正しい生活をしています。また、寮を担当する先生や職員がいて、寮生会の指導、寮生の健康管理などに当たっています。寮生活は、協調性や自立心を養う上で有意義であり、友達を作ったり、課外活動をするにも好都合です。専攻科に進学した時も入寮することができます。

| 月 額    |             |
|--------|-------------|
| 寄宿料    | 1 人部屋 800 円 |
| 食費(3食) | 約 38,000 円  |
| 寮運営費   | 6,500 円     |

※現在は2人部屋を1人部屋として使用しています。

## Q11 高専で行われている遠隔授業について教えてください。

**A11** 遠隔授業は、主にMicrosoft office365のコミュニケーションツールであるTeamsを利用して行っています。遠隔という形式でも、通常の"授業"に近い形式で講義を実施しております。そのため、登校時と変わらない緊張感により、自宅学習であっても各学生の生活にリズムができます。また、各教員が講義内容に合わせて創意工夫を行い、その"工夫"を他の教員とも状況共有することで効果的な授業を実現しています。

さらに各クラスのホームルームもTeams上で実施し、クラス運営に対応しております。

## 学生食堂(群嶺会館) 栄養バランスを考えたリーズナブルな料理を提供。



食事のときは、券売機で食べたいものの食券を買います。

昼食は、気が休まるひと時です。